



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月4日

上場会社名 住友電気工業株式会社
 コード番号 5802 URL <https://sei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名福

(氏名) 井上 治
 (氏名) 小林 伸行

TEL 06-6220-4141

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,345,215	3.9	115,515	2.3	128,093	2.8	81,193	11.2
2018年3月期第3四半期	2,257,680	11.0	112,940	13.4	124,601	3.7	73,047	△0.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 65,202百万円 (△50.2%) 2018年3月期第3四半期 130,885百万円 (111.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	104.11	—
2018年3月期第3四半期	93.66	92.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,113,573	1,756,686	49.2
2018年3月期	2,999,903	1,764,086	51.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,532,401百万円 2018年3月期 1,539,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	21.00	—	25.00	46.00
2019年3月期	—	24.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,180,000	3.2	175,000	1.1	193,000	△1.0	122,000	1.4	156.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) — 、 除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	793,940,571 株	2018年3月期	793,940,571 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	14,044,122 株	2018年3月期	14,056,894 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	779,898,512 株	2018年3月期3Q	779,889,441 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は2,345,215百万円と前年同四半期連結累計期間対比3.9%の増収、営業利益は115,515百万円と前年同四半期連結累計期間対比2.3%の増益、経常利益は128,093百万円と前年同四半期連結累計期間対比2.8%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は81,193百万円と前年同四半期連結累計期間対比11.2%の増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

自動車関連事業

ワイヤーハーネス、防振ゴムともに増加し、売上高は1,263,753百万円と66,030百万円の増収となりました。営業利益は、将来に向けた研究開発費の増加などにより、58,682百万円と8,129百万円の減益となりました。

情報通信関連事業

アクセス系ネットワーク機器の減少や一部事業のセグメント変更の影響により、売上高は150,716百万円と7,144百万円の減収となりました。営業利益はコスト低減や品種構成の改善などにより12,366百万円と1,889百万円の増益となりました。

エレクトロニクス関連事業

携帯機器用FPC（フレキシブルプリント回路）の減少などで、売上高は177,055百万円と13,874百万円の減収となりましたが、コスト低減の取組みなどによる採算性の改善により、営業利益は5,974百万円と2,330百万円の増益となりました。

環境エネルギー関連事業

電力ケーブルの増加や住友電設㈱での需要の増加により、売上高は548,417百万円と31,371百万円の増収となり、営業利益は16,398百万円と3,648百万円の増益となりました。

産業素材関連事業他

売上高は270,372百万円と超硬工具を中心に増加し18,565百万円の増収となりました。営業利益は22,276百万円と3,205百万円の増益となりました。

なお、各セグメントの営業利益又は営業損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失に対応しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,113,573百万円と前連結会計年度末対比113,670百万円増加しました。資産の部では、保有株式の時価下落に伴い投資有価証券が減少した一方、たな卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末対比113,670百万円増加しました。

負債の部では、主に短期借入金の増加により、前連結会計年度末対比121,070百万円増加しました。

また、純資産は1,756,686百万円と、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上の一方で、配当の支払や保有株式の含み益の減少並びに為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末対比7,400百万円減少しました。自己資本比率は49.2%と前連結会計年度末対比2.1ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、ワイヤーハーネスや防振ゴム等の需要減少に加え、持分法による投資利益が下振れる見込みとなったことから、2018年11月1日に公表した通期の予想を下記の通り修正いたしました。

連結（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	3,200,000	180,000	203,000	125,000	160	28
今回修正予想（B）	3,180,000	175,000	193,000	122,000	156	43
増減額（B－A）	△20,000	△5,000	△10,000	△3,000		－
増減率（%）	△0.6	△2.8	△4.9	△2.4		－
前期実績	3,082,247	173,139	195,010	120,328	154	29

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	178,918	189,883
受取手形及び売掛金	668,616	683,052
有価証券	2,065	3,240
たな卸資産	466,437	565,183
その他	88,277	102,385
貸倒引当金	△2,616	△1,827
流動資産合計	1,401,697	1,541,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	273,231	272,528
機械装置及び運搬具(純額)	376,445	396,813
工具、器具及び備品(純額)	50,633	51,078
その他(純額)	145,525	156,086
有形固定資産合計	845,834	876,505
無形固定資産		
のれん	9,128	7,507
その他	39,987	39,179
無形固定資産合計	49,115	46,686
投資その他の資産		
投資有価証券	478,761	433,288
その他	226,630	217,293
貸倒引当金	△2,134	△2,115
投資その他の資産合計	703,257	648,466
固定資産合計	1,598,206	1,571,657
資産合計	2,999,903	3,113,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	367,297	376,393
短期借入金	186,931	326,664
未払法人税等	17,935	12,478
引当金	6,835	5,500
その他	224,670	222,341
流動負債合計	803,668	943,376
固定負債		
社債	74,805	74,822
長期借入金	226,627	224,601
退職給付に係る負債	54,661	55,720
引当金	1,110	658
その他	74,946	57,710
固定負債合計	432,149	413,511
負債合計	1,235,817	1,356,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,737	99,737
資本剰余金	170,849	170,986
利益剰余金	1,160,601	1,179,337
自己株式	△20,749	△20,745
株主資本合計	1,410,438	1,429,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,251	75,667
繰延ヘッジ損益	△230	△41
為替換算調整勘定	238	△12,551
退職給付に係る調整累計額	42,756	40,011
その他の包括利益累計額合計	129,015	103,086
非支配株主持分	224,633	224,285
純資産合計	1,764,086	1,756,686
負債純資産合計	2,999,903	3,113,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,257,680	2,345,215
売上原価	1,841,610	1,917,527
売上総利益	416,070	427,688
販売費及び一般管理費	303,130	312,173
営業利益	112,940	115,515
営業外収益		
受取利息	882	895
受取配当金	3,400	4,034
持分法による投資利益	16,171	15,888
その他	7,368	7,739
営業外収益合計	27,821	28,556
営業外費用		
支払利息	4,260	4,987
その他	11,900	10,991
営業外費用合計	16,160	15,978
経常利益	124,601	128,093
特別利益		
投資有価証券売却益	8,297	—
特別利益合計	8,297	—
特別損失		
固定資産除却損	2,202	1,845
減損損失	1,751	—
海外工事事故関連損失	4,062	—
特別損失合計	8,015	1,845
税金等調整前四半期純利益	124,883	126,248
法人税、住民税及び事業税	31,829	29,828
法人税等調整額	6,618	2,910
法人税等合計	38,447	32,738
四半期純利益	86,436	93,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,389	12,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,047	81,193

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	86,436	93,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,179	△9,847
繰延ヘッジ損益	△842	184
為替換算調整勘定	25,241	△4,283
退職給付に係る調整額	△2,020	△2,266
持分法適用会社に対する持分相当額	4,891	△12,096
その他の包括利益合計	44,449	△28,308
四半期包括利益	130,885	65,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,678	55,231
非支配株主に係る四半期包括利益	20,207	9,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間より、当社保有の一部株式の売却に伴い、持分法適用関連会社の株式会社ミライト・ホールディングスを持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表は当該会計基準の改正等を遡って適用した後の数値となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 関連事業	情報通信 関連事業	エレクトロ ニクス 関連事業	環境 エネルギー 関連事業	産業素材 関連事業他			
売上高								
外部顧客への売上高	1,197,097	155,146	178,822	504,828	221,787	2,257,680	—	2,257,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	626	2,714	12,107	12,218	30,020	57,685	△57,685	—
計	1,197,723	157,860	190,929	517,046	251,807	2,315,365	△57,685	2,257,680
セグメント利益又は損失(△)	66,811	10,477	3,644	12,750	19,071	112,753	187	112,940

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額187百万円は、主に未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車 関連事業	情報通信 関連事業	エレクトロ ニクス 関連事業	環境 エネルギー 関連事業	産業素材 関連事業他			
売上高								
外部顧客への売上高	1,261,285	148,918	162,705	533,648	238,659	2,345,215	—	2,345,215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,468	1,798	14,350	14,769	31,713	65,098	△65,098	—
計	1,263,753	150,716	177,055	548,417	270,372	2,410,313	△65,098	2,345,215
セグメント利益又は損失(△)	58,682	12,366	5,974	16,398	22,276	115,696	△181	115,515

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△181百万円は、主に未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。